出水中央高校新聞

発行所
鹿児島県出水市西出水町
出水中央高等学校
TEL 0996-62-0500
FAX 0996-62-6677
http://izumi.ac.jp
admini@izumi.ac.jp

平成24年度 生徒募集要項

推薦入試　1月25日(水)
一般入試　2月1日(水)

自分をみつけ、高めよう

平成二十四年度生徒募集要項を紹介します。

①推薦入試
全科・課程対象。本校第一志望で、所定の推薦条件を満たし、中学校からの推薦を受けたうえでの入試です。中学校からの書類と面接で合否を決めますが、看護学科と医療福祉科だけは国語・数学・英語の基本的な学科試験があります。（合計一五〇点満点、六十分）

②一般入試
全科・課程とも専願もしくは併願で受験できます。特進課程は五教科（国語・数学・英語の各一〇〇点と理科・社会の各五〇点　合計四〇〇点満点）、他の科・課程は三教科（国語・数学・英語の各一〇〇点　合計三〇〇点満点）の学科試験があります。また、普通科普通課程・教養課程の併願受験者以外は、面接試験もあります。

※奨学金制度
看護学科と医療福祉科には、病院奨学金制度があります。希望者全員が、本校指定の奨学病院から入学金と月々の奨学金を受給できる制度で、資格取得後指定病院に二～四年勤務すれば返済の必要がありません。
また、普通科（特進課程・教養課程・普通課程）には、学園奨学金制度（※適用人数に制限あり）もあります。これは、本校に推薦・専願入学を希望する生徒で、経済的な援助が必要な生徒に支給が検討されるもので、対象者は、特に人物良好であり、他の模範となる生徒が条件となっています。
いずれの制度も、県の育英会奨学金と併せて利用できますので、保護者の経済的な負担の軽減に役立っています。

中高連絡会は、本校の教育内容、入試制度を中学校の先生方にご理解いただき、中学生の進路指導に役立てていただくために年二回実施しています。本年度第一回は六月八日に本校にて実施しました。第二回は十月五日に行います。

入試説明会は、中学生とその保護者を対象に本校の教育内容、入試制度を紹介する会です。この秋は、本校会場をはじめとする左記の四会場で実施します。特に十月二十二日の本校会場は、地元をはじめ全地域を対象に体験入学として実施します。

生徒募集要項

	普通科（男・女）			医療福祉科（男・女）	看護学科（男・女）	備考
募集定員	特進課程	教養課程	普通課程	40名	80名	試験地（推薦入試）本校・入吉・天草・熊本（一般入試）本校・阿久根・脇本・長島・伊佐・鹿児島・霧島・水俣・八代・入吉・天草・熊本
	50名	30名	35名			
願書受付	平成24年1月6日(金)～1月19日(木)（土・日・祝日を除く）					
出願書類	入学願書・調査書もしくは推薦調査書（本校指定用紙）					検定料（10,000円）
選考日	推薦入試　1月25日(水) 一般入試　2月1日(水)					
選考方法	学科		一般入試			推薦入試
	普通科	特進	国語・数学・英語・理科・社会・面接			1　書類選考（全科・課程） 2　面接（全科・課程） 3　学科試験（看護・医療福祉のみ）国語・数学・英語（合計60分、150点満点）
		教養	国語・数学・英語			
		普通	面接（教養・普通課程の併願受験者を除く）			
	医療福祉科					
	看護学科					
合格発表	推薦入試　1月27日(金) 一般入試　2月6日(月)					中学校・本人
入学手続	推薦入試・一般入試とも締切は2月17日(金)17時。但し普通科（教養・普通課程）で公立高校との併願受験者については、公立高校発表翌日17時まで延期できる。					

Discover Yourself

◆国の就学支援金について◆
平成22年度より、私立高校に通う全ての生徒を対象に、就学支援金が支給されることとなりました。授業料より下記金額が減額されています。

該当条件	就学支援金
両親とも市町村民税の所得割額が非課税の場合（年収約250万円未満程度）	月額19，800円
両親の市町村民税の所得割額の合算が18,900円以下の場合（年収約250万円～350万円未満程度）	月額14，850円
年収が350万円以上	月額　9，900円

中高連絡会（中学校の先生方を対象）

日時	10月5日(水)　14：00～16：00		
地区	通学区域	会場	出水中央高等学校

入試説明会（中学生とその保護者を対象）

月日（曜）	地区	会場	時間
10月8日(土)	八代	八代市厚生会館	10：00～12：00
10月8日(土)	天草	天草市民センター	
10月15日(土)	人吉・球磨	人吉球磨カルチャーパレス	
10月22日(土)	全地区	出水中央高等学校（体験入学）	10:00～12:30

校訓
「協調」「規律」「勤労」

第50回体育祭 節目を飾る大会新記録５個！

第五十回体育祭が九月七日(水)、秋晴れの中、本校グラウンドで行われました。生徒会長園田清香さん（普通科特進課程三年生）の先導で、各団の堂々たる入場行進が始まりました。今年は、第五十回の体育祭ということで、建学の精神でもある「和」をテーマに、「協調」「規律」「勤労」の校訓を念頭に、開会式から閉会式まで選手・係りとして生徒全員が活躍する体育祭となりました。

競技の部では、一昨年から取り入れたクラス対抗種目二種目（クラス対抗リレーとクラス対抗大縄跳び）で、クラスの和を高めたプレーに多くの拍手と歓声が沸きました。その中でも、クラス対抗大縄跳び予選では昨年優勝の普通科普通課程二年が四十七回跳び自身の持つ大会記録をぬりかえると、そのあとすぐに普通科教養課程三年が五十一回跳び、大会新記録を樹立しました。決勝では、看護学科基礎課程二年一組が四十七回を跳び優勝し、各クラスの「和」で場内を沸かせました。また、大会記録（四十二回）には及びませんでしたが、三十六回を跳んだ専門課程二年生は、素晴らしい団結力を見せてくれました。この強い団結力で国家試験へ向けてがんばってくれるものと思います。個人の大会新記録は、女子八〇〇Mで優勝した新門祐美さん（普通科普通課程三年）と二位の右田愛さん（普通科普通課程二年）でした。

クラス対抗大縄跳び

集団演技では、男女それぞれが「和」をテーマにした演技を披露しました。男子は集団行動とパネル文字「出水中央５０Ｃ」「ガンバレ日本」を作り、女子は全員で「絆～人から人へ～」を披露し、男女それぞれ「和」を表現しました。

閉会式では、競技・応援の部でダブル優勝した二年生の林田紗也加団長（看護学科基礎課程二年）に優勝旗・優勝盾、専門課程の競技の部で優勝した二年生の佐藤龍也団長に賞状が授与されました。

全国的に猛暑日が続き、熱中症が心配される中での体育祭でしたが、中央生の「和の精神」で全校生徒が一つになり、新たな節目の第一歩を踏み出しました。結果は、次のとおりです。

▼競技の部優勝
本　科…二年生(赤)
専門課程…二年生(黄)

▼応援の部優勝
二年生(赤)

▼大会新記録
女子八〇〇M
一位　新門　祐美
（普通科普通課程三年）
二分二十九秒七五
二位　右田　愛
（普通科普通課程二年）
二分三十一秒四一

クラス対抗大縄跳び
普通科教養課程三年　五十一回
普通科普通課程二年　四十七回
看護学科基礎課程二年一組　四十七回

Shake hands ～とぎれそうな今を笑顔でつないでいこう～ 第37回文化祭

六月十一日(土)、本校体育館及び各教室等で、第三十七回文化祭が行われました。

舞台部門では、午前と午後それぞれに合唱・ダンス・劇・バンドなど十一の団体と、吹奏楽部の演奏が披露されました。「Shake hands～とぎれそうな今を笑顔でつないでいこう～」というテーマにふさわしく、クラスや仲間の絆を感じさせ、笑顔あふれる感動的なものばかりでした。

展示部門は、各科・課程の特色が生かされ、内容豊富なものでした。特に、普通科特進課程一年生の作品は、それぞれに趣向を凝らした完成度の高いもので、来場者を楽しませていました。

昼食時には、二年生の家庭科履修者を中心に、うどんとカレーが振る舞われ、家庭部のシュークリームやアップルパイなどの販売も好評でした。また、昨年に引き続きＰＴＡの方々によるパン・ジュース等の販売も行われました。

劇：シンデレラ

当日の天候は大雨。そのため、舞台部門・午後の部の開始時間を早める等変更もありましたが、大きな混乱もなく、無事に終了することができました。

各部門の審査結果は、次のとおりです。

▼舞台部門
★文化祭大賞
普通科特進課程二年二組
劇
「シンデレラ」
☆優秀賞
看護学科基礎課程三年二組
劇（ダンス・歌）
「Dream Catcher
～夢をあきらめない人たちへ～」
普通科普通課程二年
ダンス・合唱
「ＡＧＯ－４９」

▼展示部門
★文化祭大賞
普通科特進課程一年一組
「不思議の館～モザイクアート・だまし絵・へんな立体～」
☆優秀賞
看護学科専門課程一年二組
「脳の館～あなたの脳を読んジャイます～」
普通科特進課程一年二組
「絵本の製作」

紫尾嶺

「彼岸」は秋分の日を挟む七日間を言う。煩悩や迷いに満ちた「此岸」（この世）に対することばで、祖先を供養する季節である。また、秋はスポーツの秋、芸術の秋、収穫の秋とも呼ばれている季節でもある▼先日、スポーツの秋にふさわしく、秋空の下、本校の体育祭が開催され、全種目に生徒全員が一生懸命に取り組んだ。練習時から天気に恵まれ、熱中症も心配されたが、今年は、大縄跳びで教養課程三年生に新記録が生まれ、女子集団演技「絆～人から人へ～」で各学年ごとにすばらしいダンスが披露され、男子集団演技「キバレ50th ver」が雄々しく披露された▼さて、書道を受け持つ私が、初めて筆を握ったのは四歳の時。「出水兵児修養掟」を揮毫された。今は亡き山下耕心先生のもとに十二年通った。厳しく怖かった先生であったが、書の道を教わったような気がする。そして、大学に進学後、先輩の紹介で書家の金子清題先生の門を叩いた。そのころの金子先生は、八十才を過ぎ、お茶を飲むにも手が震え、歩行も不自由な生活をされていた。しかし、筆を持ち紙に筆先が打ち込まれた瞬間、手の震えが止まった。その流れるような筆さばきに感銘し、本当の芸術の意義に触れたことを、今でもこの季節になると思い出す▼この時期になると私は田んぼの草取りに出かける。「米の収穫は、田んぼの人の足跡の数で決まる」と言われているからだ。暑い中、四つんばいで草取りを行い、田んぼの足跡の数で（＝努力の数で）米の収穫が違ってくることを肌で感じ取っている▼米は刈取り間際になってからいくら草を取っても収穫は増えない。足跡の数は、努力の積み重ねに例えることができる。まさに三年生・専門課程二年生の努力が自らの進路・大学入試・国家試験の結果に繋がることに通じる。試験直前になってから大きな収穫を得ようとするのは虫のいい話であり、今のうちから頑張る、努力すること。この時期は何事にも打ち込んでほしいという願いが込められた季節でもある▼二学期は一年のうちで最も長い学期であり、最も重要な学期でもある。スポーツにそして芸術に、学問に、この二学期をどう過ごすかが、一年間の成果に大きく影響する。時間を有効に使って有意義に過ごしてほしいと思う。

（波留　淳一）

活躍する部活動

【野球部】
●第93回 全国高等学校野球選手権大会鹿児島県予選（7月4・10日）
1回戦　木校　8－0　甲八工業（7回コールド）
2回戦　木校　0－1　松南
●第48回 北薩地区高校野球大会（8月22日）
1回戦　木校　3－4　出水（延長12回サヨナラ）

【サッカー部】
●鹿児島県1年生サッカー大会（7月29日～31日）
予選リーグ　木校　3－1　鹿児島工業
木校　1－1　鹿児島高専
木校　1－1　鶴翼
木校　3－2　沖永良部
準　決　勝　木校　3－2　鹿児島実業
決　　勝　木校　0－2　神村学園　**準優勝**

【女子バスケットボール部】
●平成23年度 出水市バスケットボール市民大会（7月10日）
木校 ×48－84 出水　　※**1敗（2位）**
●第1回 夏期出水地区高等学校バスケットボール大会（8月20･21日）
木校 ○63－58 出水商業
木校 ×42－87 出　水
木校 ×59－62 野田女子　　※**1勝2敗（3位）**

【男子バスケットボール部】
●平成23年度 出水市バスケットボール市民大会（7月10日）
1　回　戦 木校 ×50－96○ 出水工業
5位決定戦 木校 ×45－125○ 出　水　※**2敗（6位）**
●第1回 夏期出水地区高等学校バスケットボール大会（8月20･21日）
木校 ×61－83 出水工業
木校 ×43－84 出　水
木校 ○65－41 出水商業　　※**1勝2敗（3位）**

【駅伝部】
●第64回鹿児島県高等学校陸上競技大会（5月26日～29日）
女子3,000m　5位　石田　愛
●南九州高校総体陸上競技大会（6月16日～19日）
女子3,000m　7位　石田　愛
●第66回鹿児島県陸上競技選手権大会（7月8日～10日）
ジュニア男子800m　2位　川上　大貴
●第55回鹿児島県高等学校新人陸上競技大会（9月15日～17日）
男子5,000m　7位　武田　洋一郎
女子3,000m　4位　石田　愛
〃　8位　宮崎　香奈
●第65回鹿児島県民体育大会　陸上競技（9月18日）
共通少年女子3,000m　優勝　石田　愛

【剣道部】
●平成23年度鹿児島県高等学校剣道大会（6月3・4日）
（男子団体戦）トーナメント戦
木校 ×0－4○ 鹿児島商　※1回戦敗退
（女子団体戦）トーナメント戦
木校 ○2－0× 原南第二
木校 ×0－5○ 鹿児島実業　※2回戦敗退
（男子個人戦）
大塚健太郎（S2-2）2回戦敗退
山田　直朗（S1-2）2回戦敗退
（女子個人戦）
吉田　朱里（N3-1）3回戦敗退
猪原　知香（N1-2）1回戦敗退

【女子ソフトボール部】
●鹿児島県高等学校ソフトボール大会（5月30日）
木校　2－9　鹿児島商校

平成24年度 強化部員募集

野　球　部

野球部は県高校野球大会で昭和49年10月優勝，昭和52年４月３位，昭和63年10月準優勝，平成６年４月準優勝で４回の九州大会に出場。平成21年度４月より青木和義監督に変わり，５回目の九州大会出場，そして初の甲子園出場を目指します。

駅　伝　部

男･女駅伝部はインターハイ，九州高校駅伝，全国高校駅伝出場を目指し頑張っています。また，卒業後も箱根駅伝に出場し実績を残した選手や全日本大学駅伝出場を目指し頑張っている選手が毎年育っています。
在校生とともにOBの活躍にもご期待ください。

サ　ッ　カ　ー　部

サッカー部は現在３年生11名，２年生17名，１年生12名の計40名で国立競技場を目指し，日々厳しいトレーニングに励んでいます。その舞台を目指すべく厳しい練習の日々ですが，同じ目標に向かって頑張れる選手を待っています。

吹　奏　楽　部

吹奏楽部は県大会で７年連続金賞受賞，今年は演奏会を６会場で行うことが決定しています。一昨年にはドイツのベルリンフィルハーモニーホールで，昨年12月にはニューヨークのカーネギーホールにて演奏をしました。11月には，横浜で行われる全日本高等学校吹奏楽大会に九州の代表として出場が決定しています。これらの活動を通して，感動していただける演奏を目指し，日々練習に励んでいます。ぜひ私たちと一緒に素敵な音楽をつくりましょう。

体験入学、今年も大盛況 !!

夏休み中の七月三十日（土）、七月三十一日（日）の二日間、中学生対象に体験入学を実施しました。

七月三十日（土）は主に熊本県、七月三十一日（日）は主に鹿児島県を対象に、霧島や天草、人吉、阿蘇に送迎のバスを出して多くの生徒、保護者、引率の先生が参加されました。各科の説明や体験授業、実習体験、授業参観、在校生体験談そして部活動見学や吹奏楽の演奏会など盛りだくさんの内容で、参加の中学生は、目を輝かせてそれぞれのイベントを体験していました。また、七月三十一日は午後から野球部の体験入学が合わせて行われました。野球部体験入学は、本校野球部グラウンドでキャッチボール・バッティング練習・ピッチング練習・ノックなど、高校硬式野球を存分に体験できるものでした。全体では両日で六百二名の参加と今年も大盛況でした。

また、八月二十七日（土）には吹奏楽部の体験入学を行いました。昨年、一昨年を更に上回る総勢二百二名、の中学・引率の先生生・保護者の皆様の参加による実施となりました。吹奏楽練習ホールを中心に、歓迎演奏、十一部門に分かれてのパート練習、午後の全体練習では講師の堺武弥先生（ヨーロッパ各地でプロのオーケストラ指揮者としてご活躍）の的確かつユニークな御指導で、本校生・中学生合同演奏・大合唱など「ハーモニーを奏でる感動の一日」となる有意義な体験入学でした。

体験入学に参加された中学生をはじめ関係の皆様に心からお礼を申し上げます。なお、秋の体験入学は十月二十二日（土）の実施となります。また、各地で入試説明会も開催されますので、ふるってご参加ください。

全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜

吹奏楽部は全日本高等学校吹奏楽大会in横浜に九州の代表として出場することが決定しました。

日程は十一月十二日（土）～十三日（日）、会場は横浜みなとみらい大ホール。全国から集まった強豪が競います。本校の演奏曲目は、「三つのジャポニズム」（作曲：真島俊夫）、ほか二曲です。一昨年はインフルエンザのため本大会の出場を辞退しましたので、今回出場できることを部員一同嬉しく思っています。より良い演奏ができるように一層練習に励んでいます。

写真：第56回鹿児島県吹奏楽コンクール

また、恒例となりました演奏会を六会場で開催します。日程は次の通りです。九月二十三日（祝）天草市民センター、十月二日（日）水俣市文化会館、十月十六日（日）出水市文化会館、十月二十三日（日）霧島市民会館、十一月三日（祝）人吉カルチャーパレス、十一月二十三日（祝）宝山ホール。皆様に感動していただける演奏を目指し、日々練習に励んでいます。是非お越しください。なお、全会場無料となっています。

その他、慰問演奏や各種行事などにも積極的に参加して、地域の皆さんにも本校の吹奏楽部の活動に親しんでいただいています。

修学旅行（広島・大阪）～特進課程二年～

特進課程二年生は、八月八日（月）から十一日（木）まで三泊四日の日程で修学旅行に行ってきました。広島では平和記念式典二日後の訪問ということもあり、暑い中ではありましたが、その分、肌で当時の惨状、平和の尊さを学ぶことができました。大学見学では広島大学・大阪大学のオープンキャンパスに参加し、自分の進路について考える貴重なきっかけになりました。三日目の自主研修では、各班で予め入念に立てておいた計画に従って各方面に出かけていきました。日本有数の大都市・大阪やその周辺をお腹一杯満喫してきた様子でした。今回の旅行では、それぞれ自分の将来に向けて大きな糧を得ることができたと思います。

阿蘇宿泊研修～特進課程一年～

八月二十二日（月）から二十四日（水）まで国立阿蘇青少年交流の家での宿泊研修を実施しました。初日は文楽鑑賞、夜はレクリエーションを行いました。二日目は久住登山を計画していましたが、雨天のため中止をしました。代わりにオリエンテーリングを楽しみ、親睦を深めることができました。最終日には東海大学の見学を行い、大学の雰囲気を肌で感じるとともに、学問に対する興味・関心を深めたようです。二泊三日と短い期間ながら、多くのことを学ぶことができました。

マナー教室～普通課程二・三年～

九月十四日（水）、午後から約一時間半にわたり、普通課程二・三年生を対象に「マナー教室」を行いました。今年もインターナショナルエアアカデミー副学院長の鶴田嘉志子先生に指導していただきました。面接や試験が身近に迫っていた三年生は、「身だしなみは心の言葉、挨拶や返事を含めて外見がその人の九割を表している」という先生の指摘を重く受け止めていました。特に人に自分を伝える為には積極的な行動とともに、常に百パーセントの挨拶と返事が重要だと教わりました。

図書室の充実

図書室の蔵書や利用の充実を図るべく、昨年から室内の改装をはじめ図書室の整備をすすめてきましたが、ようやく本年度より本格的に利用ができるようになりました。昼休みの時間等を利用して、来室者が増えてきています。また、生徒皆さんの新たな憩いの場としても定着しつつあるようです。すべての書架に図書を配置するよう努めています。皆さんと共に利用しやすく図書室を目指したいと思います。司書は本年度赴任された荻原かす美先生です。

真夏の地区ＰＴＡ

本校では、毎年夏季休業中にＰＴＡの重要な活動の一つとして地区ＰＴＡを行っています。各地区での様子と教育講演会の模様をまとめてみました。

毎年夏休みを利用して行われる恒例の地区ＰＴＡが今年度も七月二十二日（金）から八月六日（土）まで、人吉・球磨地区を皮切りに地方の五会場と本校会場で実施されました。本校の地区ＰＴＡは、学校と保護者の相互共通理解を軸に、各地区の保護者同士の交流や親睦、また講演会を通してＰＴＡ会員の研修を目的に実施しています。特に、遠方の地区では、家庭訪問の代わりとして学級担任や各寮の寮監が保護者と面談し、学習状況や寮での生活状況などを報告し、今後の学習指導等について話し合うことを目的にしています。遠方の五地区の会場は、平日にもかかわらず、七割近い参加率でした。どの地区も面談等が時間いっぱいまで行われており、子供たちの状況に強い関心をお寄せいただいていることを実感しました。

また、本校会場では、講演会を開催しました。

講演「こどもに対する法教育」

八月六日（土）、本校会場において、弁護士の上野秀城先生をお招きし「こどもに対する法教育」と題して講演が行われました。

仕事柄、「契約」に絡む弁護を担当し「契約」について簡単に考えている若者に多く接してきました。高校時代に、「社会の仕組み（契約）」についての話をすることの大切さを感じました。

高校を卒業し社会に出てからでは遅いのである、とのお話をいただきました。学校のみならず家庭での会話の中で少しずつでも「契約」について、ことあるごとにしっかりと教えておく必要があります。